

# 沖縄県中学生議会 議事録



平成 28 年 2 月 5 日

沖 縄 県



## ○事務局

それでは、日程に入っていきます。

議長が決まるまでの間、地方自治法の規定を参考に、年長の3年生の中のお一人に臨時議長を務めていただきます。西原町立西原東中学校の吉谷琉一君、議長席に移動してください。



## ○吉谷臨時議長

西原町立西原東中学校の吉谷琉一と申します。

事務局から指名がありましたので、臨時議長を務めさせていただきます。議会の開会に先立ちまして議長の選出を行います。事前に確認したところ、議員42名の中から25名の議長就任希望がありました。希望者の中から2名の議長を選ぶにあたり、事務局から提案がありますので説明していただくこととします。

## ○事務局

それでは、事務局案を説明致します。

議長について、事務局案と致しまして、次の3つの理由を勸案し、候補者2人を提案致します。

まず、1つ目に、男女平等に1名ずつ選ぶことと致します。そして、2つ目に、より上級生から、3年生がいれば3年生、2年生がいれば2年生という考え方で選びます。さらに、前半と後半で7グループずつ質問しますので、議事の進行に支障がないこと等を勸案します。

以上の考え方で、前半の議長として沖縄カトリック中学校3年の外間光さん、後半の議長としてうるま市立あげな中学校3年の金城昂君を提案致します。宜しく申し上げます。

## ○吉谷臨時議長

事務局からの提案についてお諮り致します。

沖縄カトリック中学校の外間光さんを前半の議長、うるま市立あげな中学

校の金城昂君を後半の議長に選出することとしてよいでしょうか。  
異議がなければ拍手でお応えください。

(拍手)

### ○吉谷臨時議長

ご異議なしと認めます。

(知事との記念写真撮影)

### ○事務局

それでは、大変長らくお待たせ致しました。沖縄県中学生議会開会に先立ちまして、沖縄県中学生議会の議長の紹介を行います。

立候補者の中から議長として、沖縄カトリック中学校外間光さんと、うるま市立あげな中学校金城昂さんが選出されております。

なお、本日の議事進行は前半を外間さん、後半を金城君、この2人の議長にお願いすることとしております。

それでは、前半の議長であります外間議長、議長席まで移動してください。



### ○外間議長

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ。

ただいまから、沖縄県中学生議会を開会致します。私は、沖縄県中学生議会議長に選出されました沖縄カトリック中学校外間光と申します。本議会の議事の前半を進行していきますので、みなさんのご協力のほど、宜しくお願い致します。

それでは、沖縄県中学生議会の開会に際しまして、翁長沖縄県知事から挨拶をいただきたいと思います。宜しくお願いします。



## ○翁長知事

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ。

沖縄県知事の翁長雄志です。沖縄県中学生議会の開会にあたりましてご挨拶を申し上げます。

各地域を代表する 42 名の中学生議員の皆さん沖縄県中学生議会に参加をいただきまして大変ありがとうございます。本当に嬉しく思っています。いつもの議会より私もずっと緊張しております。今日皆さん方が色々ご質問なさるかと思えますけれど大変楽しみにしながら、またお聞きもしたいと思っております。檀上からこうして拝見しますと「将来の沖縄県は自分が担うぞ」と熱い情熱とパワーが感じられますし、今ずっと見られているわけですが、目も大変真剣な感じで心強く思っております。私の方からは、後で皆さまの質問があろうかと思えますけれど、「沖縄 21 世紀ビジョン」という沖縄県が今から 6 年前に策定した沖縄県の将来像、或いは色々な課題というものを短い時間で簡単にしか説明できませんが、それをご紹介して皆さまのご質問を受けるというかたちになろうかと思っております。

この「沖縄 21 世紀ビジョン」は大きく分けると 3 つあります。1 つは「基地と平和」です。もう 1 つは「経済の発展」、もう 1 つは「県民の暮らし」です。

「基地と平和」という意味では、なかなか解決方法は簡単ではありませんけれども、日本全国の 0.6% の面積に 73.8% の米軍基地があるということで、基地の整理縮小をすべきだということは、みんな心はひとつですが、解決方法はいろいろ議論しているところです。

沖縄の「経済の発展」という意味では、沖縄は離島県ですので、なかなか簡単ではなかったんですけども、最近のアジアの経済が世界中で大変活発に、アジアが元気になってきております。そのアジアの経済のダイナミズムを沖縄の自然、歴史、伝統、文化、ソフトパワーと言っていますけど、沖縄県が先人から築き上げてきたこの能力と可能性とそのアジアのダイナミズムと合体致しまして経済が活発になってまいりました。

主なものを 2、3 説明させて貰いますと 1 つは皆さんもよく聞いている沖

縄観光です。昨年は約 780 万人、海外から 150 万人が沖縄においでになっております。大変活発でありましてその沖縄県の中心になる経済という意味では、いま沖縄県の観光が大変中心になって頑張っております。

それからもう 1 つは、国際物流拠点とって那覇空港は 24 時間運用できるものですから、日本本土の他の都道府県の生鮮食料品等を沖縄に集積して、沖縄の物産もそれに入れてアジアの上海、台北、香港、シンガポールに 10 数時間で届いていくものですから、大変新鮮なものがアジアに運ばれる、逆にアジアの方から沖縄に集積して各都道府県にという形になっていきますので、沖縄が物流の中心地になりつつあります。7 年くらい前には、1,800 トンくらいであったものが、今は 180,000 トンということで約 100 倍以上に物を運ぶのが増えてきております。

それから、もう 1 つは情報通信産業、海底ケーブル、光ファイバーが日本本土とシンガポールまでずっと結ばれているんですが、去年から今年にかけてそれが沖縄に接続するようになりまして、インターネット、情報通信産業でも沖縄はアジアの中心地になりつつあるということです。沖縄県は万国津梁の精神、昔から、「琉球王国時代から日本とアジアの架け橋になるんだ」、「世界の架け橋になるんだ」ということで頑張ってきましたが、まさにそういう時代を迎えつつあるというかたちで大きな展望が開こうとしています。

そしてもう 1 つ沖縄県で重要なのが、離島の問題がございます。沖縄県には東西 1,000 キロ南北 400 キロに 160 の島々があって約 40 の島に人が住んでいます。これがダイヤモンドのようにいま輝き始めてきてまして 10 年後、20 年後は、むしろ離島のほうが遥かに魅力を発揮するのではということでそういったことも皆で育てていこうとしております。

それからもう 1 つは、沖縄は移民県で世界に約 40 万人沖縄の人が行っております。特に南米のブラジルには 15 万人ほどおりましてそれからアルゼンチン、ペルー、ボリビア、アメリカ合衆国、カナダ、特にまたハワイにも 5 万人くらいおりましてこの 40 万人の方々が今年で第 6 回になりますけど、5 年越しに沖縄に戻ってくるんですね、5,000 名~6,000 名、自分のお爺ちゃん、お婆ちゃんがですね、育った、生まれたところを見たいということで、今年また一同に会しますのでそういった方々とのチャンネルも大切にしながら、沖縄が国際社会に飛び立っていこうということになっております。

皆さま方がこの 21 世紀ビジョンをよくご理解されたんだと思います、質問の要綱をみると今、私が簡単に説明したものが今日、皆さまの質問要綱の中にありますので大変頼もしく思っております。是非とも皆さま方が、この議会を通じて大きな志を持って「沖縄を背負っていくんだ」、或いは、「アジアや世界に雄飛をしていくんだ」、色々な皆様の目標が出てこようかと思

ますので、是非、志をしっかり持って頑張っていたきたいと思います。

結びになりますけど、今日、傍聴席の方にも学校や家庭において生徒達の指導にあられた先生方やご家族並びに関係者の皆様がおいであります。心から感謝を申し上げますと共に、この前途ある若者達がしっかりと成長し、活躍をすることを祈念致しまして私の冒頭の挨拶にかえさせていただきます。イッペーニフェーデービル。

#### ○外間議長

翁長知事ありがとうございました。知事は別公務のため、これにて退出致します。

日程に入ります前に、報告致します。本日説明員として出席を求めた保健医療部長 仲本朝久君、商工労働部長 下地明和君、文化観光スポーツ部長 前田光幸君、企業局長 平良敏昭君は、別公務のため本日の会議に出席できない旨、報告がありましたので、その代理として本日の会議にそれぞれ保健医療部 参事兼病院事業局参事 阿部義則君 商工労働部 産業雇用統括監 宮城行夫君、文化観光スポーツ部 観光政策統括監 髙原安伸君、企業局 企業技術統括監 稲嶺信男君の出席を求めました。

続きまして質疑に移ります。

私たち沖縄県中学生議会議員 42 人は、今回国頭地区、中頭地区、那覇地区、島尻地区、宮古地区、八重山地区の 6 地区に分かれ、3 人 1 組としてグループを編成し、各々質問を考え、まとめてまいりました。本議会のテーマである「私達の描く沖縄の未来に向けて」どうすればよいのか一生懸命考えましたので、説明員の皆さんは明確な答弁をお願い致します。

それでは質問の通告がありますので、順次、発言を許します。

国頭地区①グループ、名護市立屋我地中学校 大城 理樹君、名護市立大宮中学校 古堅 杏摘さん、名護市立羽地中学校 岸本 陽向さん。



#### ○大城議員

国頭地区選出の名護市立屋我地中学校 大城理樹と申します。私からは、

地域の紹介をします。

沖縄本島北部に位置する名護市は東海岸と西海岸に囲まれ名護岳や多野岳、嘉津宇岳など多くの山々が連なる自然豊かな町で「あけみおの町」と呼ばれています。名護市のキャッチコピーである「あけみお」とは夜明けの静かで青々とした海のことです。

大宮中学校のある地域は、現在の名護市の中心となっていて、様々な商業施設や飲食店のある楽しいところです。

羽地中学校のある地域は、稲作が行われている田園や美しい羽地内海が広がっています。

最後に、僕の出身の屋我地地域について紹介します。屋我地島は羽地内海に面していて屋我地大橋、古宇利大橋、そしてワルミ大橋の3つの橋でつながっています。屋我地島の魅力は何といても美しい海です。機会があれば是非一度、僕たちの住む地域へいらしてください。



#### ○古堅議員

国頭地区選出の名護市立大宮中学校 古堅杏摘と申します。私からは、地域の課題を説明します。

名護市の課題は、辺野古基地です。実際に体育の授業の時にオスプレイが飛んでいて先生の指示が聞こえなくなったり、墜落してしまわないかと怖くなります。

他にも名護市はごみの分別の種類がとても多く、分けるのが大変です。そのため、分別せずにゴミを出す人もいて、不法投棄も問題になっています。

また国頭地区の中学生の学力が他の地区と比べて低いと聞いたことがあります。国頭地区では、自転車通学の学校がありますが、他県のようにヘルメットを着用する中学生はほとんどいません。現在、学校独自で着用義務化に取り組もうとしている学校もありますが、生徒の安全のため無償でヘルメットを提供する県もあるようです。沖縄でも取り組んでいけると事故も少しは減ると思います。課題について以上です。





**○岸本議員**

国頭地区選出の名護市立羽地中学校 岸本陽向と申します。私からは、質問をします。

将来像2から質問です。健康長寿とありますが、今では全国一長生きの県ではなくなってしまっています。そのようでは、沖縄野菜などの伝統的な食べ物や伝統的な食文化について、注目してもらうことに説得力がなくなってしまうのではないのでしょうか。また、他の都道府県の人に比べて、沖縄の人は運動量が少ないとされています。それを沖縄の人はどう改善していけばよいのでしょうか。答弁のほど宜しくお願い致します。

**○外間議長**

保健医療部 参事兼病院事業局参事 阿部義則君。



**○保健医療部 参事兼病院事業局参事 阿部義則**

それでは、健康長寿沖縄の取り組みについてお答え致します。

沖縄県の平均寿命は、平成22年の都道府県順位で男性が平成17年の25位から30位に、女性が1位から3位となり健康長寿沖縄の維持、継承が課題となっております。

その要因として、沖縄県の20歳から64歳までの働き盛り世代の死亡率が全国平均より高いことが挙げられます。生活習慣の乱れにより心臓病や脳卒中、アルコールのとり過ぎによる肝臓病などの死亡率が高い状況となっております。

ります。

このことを受け、健康長寿沖縄 21 第 2 次計画では特定健診、がん検診の受診率向上、運動習慣の増加等による肥満の改善やアルコール対策を重点的に取り組むこととしています。また、取り組みを一層推進するため、健康長寿世界一復活プロジェクトとして、2040 年に男女とも平均寿命を日本一とすることを長期的な目標として各種施策を展開しております。

具体的には、経済界やマスコミなど県内の約 70 団体で構成する健康長寿沖縄復活県民会議を平成 26 年 4 月に発足させ民間団体や県、市町村を含めた全県的な健康づくり運動を展開しております。また、県庁内では平成 25 年 9 月に知事を先頭に健康長寿沖縄復活推進本部が発足し、歩きやすい歩道の整備や小学生、中学生向けの健康づくりに関する副読本を作成するなど、県民が健康づくりを行いやすい社会環境の整備を行っております。

県としましては、これらの取り組みにより、健康長寿復活に向けた施策を積極的に進めて参りたいと考えております。以上でございます。

## ○外間議長

中頭地区①グループ、沖縄市立美東中学校 當山 花さん、うるま市立あげな中学校 金城 昂君、北谷町立北谷中学校 崎原 共生君。



## ○當山議員

中頭地区選出の沖縄市立美東中学校 當山花と申します。私からは、地域の紹介をします。

沖縄市は、沖縄本島中部の中心都市です。子どもの町宣言をしていて、子どもの多い都市として知られています。沖縄市では、音楽が盛んで年に一度、沖縄全島エイサー祭りが開催されています。エイサー祭りだけでなく、音楽に関するイベントが多く開催されていて、主にパークアベニュー通りやミュージックタウンで多く行われています。

また、スポーツも盛んで沖縄県総合運動公園には、体育館や陸上競技場など様々な施設があります。

そして、沖縄市には米軍基地があるため、空港通り、ゲート通りには外国人が多くいて、異国情緒溢れる通りになっています。



### ○金城議員

中頭地区選出のうるま市立あげな中学校 金城昂と申します。自分からは、沖縄市の課題を説明します。

沖縄市の課題は失業率が高いことです。さらに失業率が高いことで、子どもの貧困率も高くなっていると伺いました。その他、中心市街地の衰退も大きな問題となっていて、銀天街、一番街などは空き店舗の増加が目立っているため、早期の解決を希望します。

また、東部地域では海拔が低いことに加え、人口増加も相まって災害時の道路の渋滞等が懸念されます。そうすると避難に時間が掛ってしまうことも考えられます。そういった面でも課題が様々あるということをご理解いただければと思います。以上です。



### ○崎原議員

中頭地区選出の北谷町立北谷中学校 崎原共生と申します。私からは、質問を致します。

沖縄は現在、観光業を発展させるために森林や海の開発に力を入れています。そのため、日本各地のみならず、海外からも観光客が来ています。

しかし、そのような大規模な開発が、海や森に住む生物たちの生態系を壊し、その生物たちを減少へと追いやっています。そのせいで、様々な環境問

題が起こっているのだと僕は考えます。

そのような中で僕らが大人になった将来、米軍基地が返還され、開発できる土地が増えていくと思います。沖縄県では、今後どのような産業が発展していくのが理想だと考えていますか、答弁のほど宜しくお願いします。

## ○外間議長

企画部長 謝花 喜一郎君。



## ○企画部長 謝花 喜一郎

沖縄の理想的な産業発展についてのご質問にお答え致します。

さきほど、知事のご挨拶にありました様に、沖縄は成長著しい東アジアの中心に位置するという地理的な特性や美しい自然、個性豊かな独特の文化など経済発展を実現する上で多くの優位性を持っております。沖縄県ではこうした強みを活かし、アジアの活力を取り組む産業の振興を図る事が重要であると考えております。

昨年の沖縄県の観光客数は、約 776 万人、うち外国人観光客が約 150 万人となり国内客、外国客とも過去最高となっております。またアジアにおける国際情報通信拠点を目指し I T 関連産業の振興に力を入れてきた結果、平成 26 年 1 月時点で、県外から 346 社の I T 関連企業が進出し、観光リゾート産業に次ぐリーディング産業となっております。

24 時間運航可能な那覇空港の特色を活かし、国内 4 路線、海外は、上海・香港・台湾などの 8 路線合計 12 路線に那覇空港から貨物専用の飛行機が就航し、日本各地の特産品を沖縄からアジア各国に輸出する国際物流ハブが実現しています。例えば、香港からインターネットで注文した北海道の特産品が那覇空港を経由して、翌日には香港に届く仕組みが構築されております。

さらに、世界最高水準の科学技術の研究を目指す沖縄科学技術大学院大学（OIST）や琉球大学等が民間企業等と連携し、海の生物から医薬品を開発する研究を進めるなど、沖縄の多様な生物資源を活用した新しい産業を作りだす取り組みにも力を入れております。

沖縄県と致しましてはこうした取り組みを支援することで、第3、第4のリーディング産業を育てて参ります。このように沖縄県では、今後沖縄の強みを活かした様々な分野の産業発展を目指し、自然環境等にも配慮しながら各種事業を推進してまいります。以上でございます。

### ○外間議長

那覇地区②グループ、那覇市立城北中学校 坂元 星菜さん、那覇市立首里中学校 田中 優貴君、那覇市立石嶺中学校 下地 旦夏さん。



### ○坂元議員

那覇地区選出の那覇市立城北中学校 坂元星菜と申します。私からは、地域の紹介をします。

私たちが住む首里には、首里城をはじめとする様々な文化財があり、それに伴う祭りもあります。それらは地域だけの活性化だけでなく、観光資源にもなっているため、たくさんの観光客が首里に訪れています。

また、私が住んでいるところの石嶺小学校区の地域では、店舗ごとに花を植えるなどして子どもたちが通う道を明るくしています。この活動は道に緑を増やすだけでなく、人々のコミュニケーションが広がることにも繋がっています。

これらの他にも、地域全体で挨拶をしたり、個人や学校ごとのゴミ拾い活動に取り組んでいるため、私たちの首里は人々が生活しやすい、心が明るくなっていく地域だと思えます。



### ○田中議員

那覇地区選出の那覇市立首里中学校 田中優貴と申します。私からは、地域の課題について説明をします。

私たちが住む那覇市は、保育施設や学校などが充実していて、子どもの人数も他の地域と比べると多いと思います。ですが、この子どもの多さが影響し、朝の登校時に子どもが車道に飛び出してしまう場面や塾帰りの子どもが車の運転者の視界に入らず、事故に遭いそうな場面が多く見られます。

なので、那覇市の課題としては、交通の安全性だと思います。子どもの交通安全への意識の低さだけでなく、車の運転者の子どもに対する配慮が足りていないのも現状だと思います。以上です。



### ○下地議員

那覇地区選出の那覇市立石嶺中学校 下地旦夏と申します。私からは、将来像2「心豊かで安心・安全に暮らせる島」の子育て環境の充実について質問します。

沖縄県の出生率が高いことはよいことだと思いますが、待機児童が多く、共働きの世帯にとって子育てしやすい環境ではないと思います。なぜなら、待機児童を減らすための努力の結果、兄弟で違う保育園に通っている家庭が増えている現状があるからです。実際、私の叔母も「仕事をしながら二つの保育園に送り迎えに行くのは大変だ」と言っていました。通勤、帰宅ラッシュという忙しい時間の中、仕事の時間にも間に合わせ、二つの保育園に送り、仕事を終わったら二つの保育園に迎えに行き、そして家に着いたら直ぐに家事に取り掛かるといふ多忙の中、子育てを行うのはとても大変なことだと思いますし、子どもたち自身としても同じ保育園に行きたいなと思っているのではないかと思います。

そこで質問です。将来像2「心豊かで安心・安全に暮らせる島」の子育て環境の充実とは、具体的にどのようなものですか。明確な答弁を宜しくお願いします。

## ○外間議長

子ども生活福祉部長 金城 武君。



## ○子ども生活福祉部長 金城 武

それでは、子ども生活の充実についてお答えを致します。

沖縄県におきましては、安心して結婚し、出産、子育てをすることのできる社会の実現に向けて、保育園に入所できない待機児童の解消や保育士の確保、こども医療費の助成に取り組んでいるところであります。待機児童数については、平成 27 年 4 月 1 日現在、2,631 人となっておりますが、今後も保育を必要とする子どもの増加が見込まれることから、保育所定員を毎年 6,000 人程度増やし、平成 29 年度末までに待機児童を解消することとしています。

また、職場内に保育所を設置するための支援を行うとともに、時間を延長して預かる保育の充実や共働き家庭だけではなく、全ての子育て家庭を対象に、急な用事の際に子どもを預かる一時預かり保育の推進などにも取り組んでおります。

待機児童の解消や多様な保育を実施していくためには、多くの保育士を確保していく必要がありますが、保育士の処遇を改善することが大きな課題となっております。このため保育士資格の取得を目指す学生への修学資金の貸付、保育士の正規雇用化の支援、保育士の出産のための休暇取得の支援などに取り組んでおります。

沖縄県としましては、今後とも市町村と連携し子育てしやすい環境の充実に図って参ります。以上でございます。

## ○外間議長

島尻地区①グループ、豊見城市立豊見城中学校 東 康太郎君、糸満市立兼城中学校 與崎 夢乃さん、南城市立久高中学校 明智 楓雅君。



### ○東議員

島尻地区選出の豊見城市立豊見城中学校 東康太郎と申します。私からは、地域の紹介を致します。

僕が住む豊見城市は那覇市や糸満市に隣接している地域です。そのため、海や空港に近く交通の面でも便利です。

この町の特産品はたくさんありますが、その中でも有名なものがマンゴーです。市のキャラクターにも使われているほど有名なものです。僕もこのマンゴーを何度か食べたことがあります。とても甘く、香りも良く、すごく美味しかったです。ぜひ食べてみてはいかがでしょうか。

この豊見城市は1つの産業に偏ったりせず、共存している町なので自然もたくさん残っています。豊見城市に遊びに来てみてはいかがでしょうか。



### ○與崎議員

島尻地区選出の糸満市立兼城中学校 與崎夢乃と申します。私からは、地域の課題を説明します。

糸満市の課題は二つあります。1つは発展が著しいとは言えないことです。昔は糸満の台所として賑わっていたマチグワーも今ではほとんどの店が店じまいをし、シャッター通りと化しています。また、観光客を糸満市に呼び込む施設も少なく感じられます。

もう1つは市内の小中学校にエアコンの設備が十分でないことです。夏は猛暑が続くため授業の内容があまり入ってきません。学習の環境を整えることは重要です。学力向上のためにもエアコンの設置は必要だと思います。以上が糸満市の課題です。





**○明智議員**

島尻地区選出の南城市立久高中学校 明智楓雅と申します。私からは、質問します。21世紀ビジョン将来像3からの質問です。

基地問題がなくなっている沖縄とありますが、沖縄県はどのような方法で基地問題を無くす方向で進めていますか。また、返還後の基地の跡地の安全性についてですが、沖縄市でのサッカー場での問題があったように、跡地には危険なものが多いと思います。これについても対策はありますか。最後に返還後の跡地の活用の例を具体的に教えてください。明確な答弁、宜しくお願いします。

**○外間議長**

企画部長 謝花 喜一郎君



**○企画部長 謝花 喜一郎**

基地問題の解決方法及び返還跡地の安全性と今後の活用例についてお答え致します。

沖縄21世紀ビジョンでは、基地のない平和で豊かな沖縄をあるべき県土の姿としながら、基地の整理縮小を進めることとしております。沖縄の米軍基地の整理縮小について日米両政府は、在米兵隊約9,000人をグアムなどの国外へ移転することにより兵員を削減し、それに伴い牧港補給地区や普天間飛行場、キャンプ瑞慶覧など嘉手納飛行場より南にある6つの米軍施設の全

部または1部を返還することを合意しております。沖縄県は、まずこれらの合意を確実に実施することが重要だと考えており、引き続き、市町村とも連携してあらゆる機会を通じて、基地の整理縮小を日米両政府に対して強く求めて参ります。

返還跡地の安全性について、平成24年4月に施行された法律「跡地利用推進法」により、所有者に土地を引き渡す前に、基地跡地の全区域について米軍によるものか否かに関わらず、全ての土壌汚染、不発弾などを徹底して取り除く措置を行うことを国に義務付けております。

なお、既に跡地利用がなされている沖縄市のサッカー場については、法律の趣旨を踏まえ、国の責任において汚染土壌等を取り除く措置が行われているところです。

返還跡地の今後の活用例としましては、平成27年3月に返還されたキャンプ瑞慶覧、西普天間住宅地区においては、琉球大学医学部及び同附属病院の移設を含む国際医療拠点の形成に向けて取り組んでいるところです。また、普天間飛行場の跡地利用においては、大規模公園の整備など緑の中の町づくりを進め、世界に誇れる環境の実現を目指しているところであります。

今後の返還跡地をより良いものにしていくためには、多くの県民が一緒になって跡地利用を考えていくことが重要と考えております。以上でございます。

### ○外間議長

宮古島地区グループ、宮古島市立下地中学校 下地 藍里さん、宮古島市立鏡原中学校 和田 陽花さん、宮古島市立北中学校 糸数 クララさん。



### ○下地議員

宮古島地区選出の宮古島市立下地中学校 下地藍里と申します。私からは、地域の紹介をします。

私たちの住む宮古島には、東洋一美しいといわれる前浜ビーチやラムサール条約に登録された与那覇湾など世界に誇れる場所があります。また、エコアイランドとして太陽光発電や風力発電などの研究も盛んです。昨年1月に

は日本一長い無料の橋、伊良部大橋が開通致しました。これまで船で行き来していた宮古島と伊良部島との間の移動が車でできるようになり、とても便利になりました。

伝統芸能には、無病息災を願うバーントウや各地域に伝わるクイチャーなどがあります。私の住んでいる下地地区には、川満の棒踊りや与那覇のヨンシーなどの活気ある芸能が受け継がれ、私の学校の運動会でも踊られています。宮古島は、地域の伝統文化が身近に存在する自然豊かで住みよい地域です。ウミヤンフィーサマチ バンタガミャーコ ズマンカイ。以上で、地域の紹介を終わります。



#### ○和田議員

宮古島地区選出の宮古島市立鏡原中学校 和田陽花と申します。私からは、地域の課題を説明します。

私たちの住む宮古島の課題は、島の人たちが島の魅力について気が付いていないことだと思います。

島には高校までしか学校がなく、毎年 600 名の生徒が卒業し大学進学、専門学校、就職等で島を離れていきます。そして島に戻る人は半分もいません。その影響もあり、島の人口は昭和の終わりころから少しずつ減少しています。そして、ついに閉校になった学校がでてきました。また伝統芸能や祭祀、口承文化である宮古方言や神歌などの継承が危機的状況になっています。

私の両親は宮古島の空気や自然に惹かれて大阪から移り住んできました。このように島にはたくさんの素晴らしいところがあるので、その島の良さをお互いに共有し、改めて見つめ直すことで島への愛着が湧いてくると思います。さらに、島を大切に思う気持ちが育てばゴミ問題や不法投棄も改善し、島を離れた人たちも帰ってきたいと思うのではないのでしょうか

ズミドヤー バンタガ ミャーコスマ。島の人たちが島の魅力に気づくこと、これが私たちの住む宮古島の課題です。以上で課題説明を終わります。



### ○系数議員

宮古島地区選出の宮古島市立北中学校 系数クララと申します。私からは質問します。

私は学校の取り組みとして綾道巡りを行いました。由緒ある御嶽や井戸、国指定重要文化財に指定された墓などがあり、宮古島に受け継がれてきた歴史を感じることができました。また伝統芸能としてクイチャーや棒踊り、他学区では与那覇のヨンシーなど活気ある芸能があります。

このように、地域を知るための活動やゲストティーチャーを招いて学ぶことはありますが、瞬時に発信できる手段があって欲しいです。そうすることで、島の魅力を若者が伝え、発信できる島になると思います。

そのため瞬時に発信できる手段としてネットワーク機器、タブレットを学び場で導入して貰えないでしょうか、答弁のほど、宜しくお願いします。

### ○外間議長

教育長 諸見里 明君



### ○教育長 諸見里 明

それでは、学校へのネットワーク機器の導入についてお答致します。

沖縄県の中学生、高校生が文化財や伝統芸能をはじめとした地域文化に触れ関心を高めるとともに、その魅力をタブレット端末等を通し発信する情報活用能力を身に付けていくことは、大変重要であると考えています。

県教育委員会ではICT化が進む社会情勢を踏まえ、平成28年2月時点で、全県立学校78校においてタブレット端末1,600台を含む、約14,000台

のコンピュータを整備しております。その内、宮古地区では 840 台八重山地区では 860 台が各地区の高等学校や特別支援学校で活用されています。

現在県立学校においては、各学校のホームページを通じた情報発信や教育センターが提供するテレビ会議システムを活用して外国、他県、近隣の学校等との交流や共同学習を行っているところです。多くの市町村においても、中学校にタブレット端末が導入されてきており、今後も整備が進められていくものと考えています。

具体的な取り組みとしては、宮古島市立下地中学校において、平成 26 年度に実証研究校の指定を受けタブレット端末や電子黒板等の ICT 機器を活用した授業モデルの組み立てやテレビ会議システムを利用した交流教育の実践が行われております。

県教育委員会と致しましては、先生方の情報教育の指導力向上に努め、生徒の皆さんが地域の自然や文化の魅力を情報発信する能力を高めていけるよう取り組んで参ります。以上でございます。

## ○外間議長

中頭地区②グループ、恩納村立山田中学校 桑畑 海空斗君、嘉手納町立嘉手納中学校 渡口 彦一郎君、読谷村立読谷中学校 大月 凧君。



## ○桑畑議員

中頭地区選出の恩納村立山田中学校 桑畑海空斗と申します。私からは、地域の紹介をさせていただきます。

私の住んでいる恩納村は、美しい海がある沖縄でも有数の観光地となっています。そのため、大小合わせて 10 以上のホテルがあり、激しい競争地となっている。

また、地形は南北に 27.4 キロと細長く、8 割が山岳、2 割が軍用地となっています。

まだ、他の市町村と比べると歴史の浅い恩納村ですが、年々人口は増加しており 2010 年には、ついに 10,000 人を突破し、新しくホテルなども建設されています。さらに、観光客の増加等も見られ、これからも成長していくと

思われます。

しかし、そのためには今ある資源を大切にし、守っていくことが大事だと思っています。そのことにより、次の世代に受け継いでいくことが大事です。そのためには、村民ひとりひとりが環境に気を使って生活していくことが一番だと思っています。



### ○渡口議員

中頭地区選出の嘉手納町立嘉手納中学校 渡口彦一郎です。私からは、地域の課題について説明させていただきます。

僕の住む嘉手納町の課題は、大きく分けて基地問題と交通整備があります。基地問題は嘉手納基地から飛び立つ戦闘機の爆音で聴力が落ちる、夜間飛行や早朝のエンジンの調整音による睡眠妨害などの被害を受け、爆音訴訟団が結成され、今なお反対運動が続いています。

また 15.12 平方キロメートルある町面積の約 83%を米軍基地が占めていることで利用可能な土地が限られており、残された 20%の 2.6 平方キロメートルに約 14,000 人が暮らしています。

交通設備の面では、限られている土地の中で市街地における低層住宅の過密や建物の老朽度も高く、さらに道幅 4 メートルに満たない狭隘道路も多く存在し、屋良地区の街灯が少ないなど住環境上、防災上の課題を有する市街地となっています。私からは以上です。



### ○大月議員

中頭地区選出の読谷村立読谷中学校 大月凧です。私から質問させていただきます。

沖縄には美しい自然、ここにしかない固有の文化があると思います。47都道府県の中でも、他に類をみない自然、木漏れ日に輝く木賊色の亜熱帯の森に、夏をより美しく見せる白い砂浜、そして砂浜を包むガラスのような海、そんな自然がこの沖縄にはあるのです。ですが、米軍基地があることによってその自然たちが壊れつつあるのではないかと感じます。また環境問題だけでなく、戦闘機における爆音やヘリコプターの墜落事故など、県民にも被害が及んでいます。

そこで質問です。現在、基地があることによって、沖縄県に何かメリットはありますか。そして、今後沖縄県は米軍基地をどうするのですか。私からは以上です。

## ○外間議長

知事公室長 町田 優君



## ○知事公室長 町田 優

米軍基地が存在するメリット及び米軍基地に対する取組方針についてのご質問にお答え致します。

米軍基地関係の収入として平成24年度は米軍等への物品、サービスの提供によるものが702億円、基地従業員の給与が507億円、軍用地料が811億円など合計約2,160億円となっておりますが、それら県民総所得に占める割合は、約5%であり昭和47年復帰時の15.5%から徐々に低下しております。

また、米軍基地従業員は、平成26年3月末現在で約9,000人となっており、復帰時の約2万人から半分以下に減少しております。沖縄県には戦後70年経た今もなお、全国の米軍専用施設の約74%が集中し航空機等による騒音や演習に伴う事故の発生、米軍人等による事件、油脂類の流出等の環境問題等、米軍基地の存在および運用に伴う過重な負担を背負い続けております。

沖縄県は、総理大臣や外務及び防衛大臣との面談等、機会あるごとに米軍基地問題の解決促進を強く求めています。また、沖縄県知事と米軍基地等が所在する県内の26の市町村長からなる協議会や米軍基地問題を抱える主

要な 14 都道府県知事で構成される協議会と連携し、日米両政府へ要請活動を行っており、

今後も基地負担軽減に向けて、全力で取り組んで参ります。以上でございます。

### ○外間議長

那覇地区①グループ、浦添市立神森中学校 照屋 眞子さん、浦添市立浦添中学校 津波古 彩さん、昭和薬科大学附属中学校 新垣 梨穂さん。



### ○照屋議員

那覇地区選出の浦添市立神森中学校 照屋眞子と申します。私からは、地域の紹介をします。

私たちの住んでいる浦添市は、那覇の新都心や宜野湾にも近いので交通整備やインフラ整備が整っていて、生活面ではとても充実しています。

また、公園や図書館、美術館などの公共施設、当山の石畳や浦添城址などの歴史溢れる場所、豊かな自然などもしっかりとしているので、子どもを教育する場所としてはとてもいい場所です。その他にも、スポーツが盛んで、特にハンドボールに力を入れており、多くの大会で上位に入賞するなど、たくさん実績をもらっています。



### ○津波古議員

私からは、地域の課題を説明します。

私たちの住む浦添市の課題は2つあります。

1つ目は環境についてです。環境整備の意識が低く、歩いているとよくポ



イ捨てされた空き缶やお菓子の袋などのゴミなどをよく見かけます。

2つ目は沖縄の文化である「うちなーぐち」のことについてです。近年、うちなーぐちを話す人が減っています。親戚で集まった時など、お爺ちゃんやお婆ちゃん達は、うちなーぐちで話しますが、うちなーぐちを話すことがない私たち若い世代は、話が理解できず、相手とのコミュニケーションが取りにくいです。私たちはうちなーぐちが失われていくことを止めたいと思っています。課題について以上です。



#### ○新垣議員

那覇地区選出の昭和薬科大学附属中学校 新垣梨穂と申します。

私からは、質問を致します。先ほど、課題で「うちなーぐち」が消滅しかけていることを述べました。その対策で、県は「島くとうば読本」というものを配布しました。

しかし、私の学校では使用しておりません。他の学校でも、まだ配られていなかったり、配られたときに軽く見るだけで終わったりとあまり活用されていないようです。

執行部は、どのような活用法を考えているのでしょうか。また、うちなーぐちの保存とおっしゃっていますが、どの程度の保存を考えているのでしょうか。例えば県民全員がうちなーぐち日常会話ができる程度なのか、うちなーぐちで挨拶が出来る程度なのかなど、具体的に教えてください。答弁のほど、宜しくお願い致します。

#### ○外間議長

文化観光スポーツ部 観光政策統括監 嵩原 安伸君。



**○文化観光スポーツ部 観光政策統括監 嵩原 安伸**

島くとうば保存の取り組みと使用の現状の質問についてお答え致します。

県では、県内各地域で受け継がれてきた「島くとうば」を次の世代へ受け継いでいくことは、重要であると考えています。

そのため、平成25年度に島くとうば普及推進計画を策定し、島くとうばの普及に取り組んでいます。具体的には、平成25年度から27年度を島くとうばに親しみを持たせる期間と位置づけ、県民大会や語やびら大会等の島くとうばに関するイベントの開催の他、講師や話し手の育成等を行っております。

また、学校で島くとうばに親しんでもらうため、小学5年生と中学2年生に「島くとうば読本」を配布しています。読本の活用については、学習指導要領上、授業での活用に限られる状況ではありますが、総合的な学習の時間やクラブ活動等の他、家庭でも活用してもらいたいと考えています。今後は、今年度の活用の実態を把握しながら活用の在り方を検討することとしています。

「島くとうば」の使用の現状について、平成25年度に実施した県の調査によると、県民の80%が島くとうばへの親しみを持っており、挨拶程度の島くとうばを使う人の割合は、58%となっています。そのうち、島くとうばを主に使う人の割合は10%となっており、中でも40代以下は5%以下であったことから消滅の危機の実態が明らかになりました。

県としては挨拶程度の島くとうばを使う人の割合を88%にすることを目標にすると同時に、島くとうばを共通語と同じくらい使う人の割合も増加できるように取り組んで参ります。以上でございます。

**○外間議長**

これで前半の質疑が終わりましたので、10分間休憩致します。議員及び県職員の皆さまは、14時50分までに席にお戻りください。

(休憩)

## ○事務局

事務局でございます。それでは、後半再開を致します。

本日後半の議事進行は、先ほど紹介しましたとおり、金城昂議長が行います。お願いします。



## ○金城議長

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ。

私は、沖縄県中学生議会議長に選出されましたうるま市あげな中学校 金城昂と申します。本議会の議事の後半の進行をしていきますので、皆様のご協力のほど、宜しくお願い致します。

## ○金城議長

国頭②グループ、名護市立名護中学校 金城 英大君、名護市立東江中学校 仲舛 なずなさん、金武町立金武中学校 宇江城 敬大君。



## ○金城議員

国頭地区選出の名護市立名護中学校 金城英大と申します。私からは、地域の紹介をします。

私たちの住んでいる国頭地区は自然が豊かな地域です。田いもの生産量が県でトップの金武町、海が綺麗な本部町、パイナップル、水が美味しい東村、ひんぷんガジュマルがシンボルの名護市など、いろいろ挙げていたら終わりません。

また、ヤンバルテナガコガネやヤンバルクイナなど生き物も元気に過ごしています。春になれば日本一早い桜まつり、夏になれば日本一熱いビール祭

りがあります。この祭りも山の近くや海の近くで行っていて、自然の豊かさが伺えます。

食べ物は金武町のタコライス、本部のカツオ、名護のあぐー、これも数え上げたら切りがありません。皆さんも美味しいものいっぱい、緑もいっぱい、元気いっぱいの国頭地区に来てください。



#### ○仲舩議員

国頭地区選出の名護市立東江中学校 仲舩なずなと申します。私からは、地域の課題を説明します。

国頭地区の課題点は、観光地についてです。なぜなら、国頭地区に来たらここに行きたいと思うところがないと感じたからです。私たち中学生は遊ぶところといったら口を揃えて「ジャスコ」と言いました。それほど、ここに行きたいと思う所がありません。

また、基地問題も課題の1つと考えます。反対運動も絶えません。綺麗な海が汚されることもそうですが、このような悪い印象で皆さんに国頭地区を知ってほしくはありません。伝統や文化など良い印象でこの国頭地区のことを知ってほしいです。

なので「国頭地区だったらここだな」と言えるような観光地が少ないということが課題と考えました。



#### ○宇江城議員

国頭地区選出の金武町立金武中学校 宇江城敬大と申します。私からは、

質問をします。

僕たち国頭地区は、南部や中部に比べると活気がないと感じます。南部や中部は新しくできたショッピングモールなども多くあり、活気があると感じます。国頭地区で前までは名護十字路などで活気があったと耳にしました。ですが、今では南部や中部に新たなショッピングモールができていますので、国頭地区の活気がなくなったと感じます。最近では、U S Jが名護にできると耳にして、国頭地区にも多くの観光客が訪れ活気付くと思います。ですが、今の宿泊施設や観光施設では観光客も満足できないと思います。

国頭地区に観光施設や宿泊施設を作る予定はありますか。答弁のほど宜しくお願い致します。

### ○金城議長

文化観光スポーツ部 観光政策統括監 嵩原安伸君。



### ○文化観光スポーツ部 観光政策統括監 嵩原安伸

北部地域の宿泊施設、観光施設についての質問にお答え致します。

北部地域は緑豊かな山々、美しい自然海岸など優れた自然環境を有しており、2000年サミットが開催された万国津梁館や美ら海水族館などの観光施設、多くのリゾートホテルが立ち並び、沖縄を代表する観光リゾート地となっています。また、世界遺産の今帰仁城跡をはじめとする史跡や大宜味村喜如嘉の芭蕉布など歴史的、文化的に優れた資源を有するとともに、プロスポーツチームのキャンプ、トレーニングやツールドおきなわが行われるなど、北部地域は多くの魅力を有しています。

最近では、観光客の増加に伴い、沖縄県内における宿泊施設等の建設計画の動きが活発になっており、今帰仁村や本部町においては宿泊施設、金武町においては、宿泊施設や温泉施設等の建設が予定されています。

県としては、世界自然遺産登録の早期実現、やんばる各地域における新たな体験型観光メニューや海洋博公園など複数の観光地を巡る旅行商品の開発を支援するとともに、テーマパークの誘致等により北部地域の活性化を図っていきたいと考えております。以上でございます。

### ○金城議長

中頭地区③グループ、中城村立中城中学校 島袋 楓歌さん、宜野湾市立宜野湾中学校 仲本 アンナさん、北中城村立北中城中学校 比嘉 柊太郎君。



### ○島袋議員

中頭地区選出の中城村立中城中学校 島袋楓歌と申します。私からは、地域の紹介をします

私たちの地元は、昨年4月にオープンした北中城村のイオンモール沖縄ライカム店や沖縄国際映画祭などの様々なイベントが開催される宜野湾市のコンベンションセンターがあり、地元の人や観光客で溢れとても賑わっています。

そして文化面では、世界遺産の中城城跡や中村家住宅など世界に誇れる文化財があります。

また広大な畑が広がっているのも特徴です。中城村は島人参、北中城村はひまわり畑、宜野湾市は田いも畑が有名です。メディアに取り上げられたり、町の名産品として人々に親しまれています。

このように私たちの地元は、観光、文化、農業面で有名な地域です。これで紹介を終わります。



### ○仲本議員

中頭地区選出の宜野湾市立宜野湾中学校 仲本アンナと申します。私からは、地域の課題を説明します。

私たちの地元の課題として挙げられているのが、普天間飛行場問題があります。宜野湾市の中央部に大きな普天間飛行場があることで、日中、オスプレイなどの航空機が飛行すると、宜野湾市以外の地域でも騒音が響き渡り、私たちの学生の授業に影響が出ることは勿論、多くの人々が恐怖を感じていることが大きな課題だと考えます。

また、農業に携わる方の高齢化、後継者不足も課題だと思います。私たちの地元、宜野湾市、中城村、北中城村は、特に農業が盛んなので、地元の誇れる農業を守るためにも、この問題はすごく大きいと思います。



#### ○比嘉議員

中頭地区選出の北中城村立北中城中学校 比嘉柊太郎と申します。私からは、質問をします。

沖縄県は長寿の島として知られています。中でも北中城村は、女性長寿日本一の村です。周りにいるおじー、おばー達は、とても元気です。このようなハッピーなニュースもあるけど、その反面、寂しい気持ちで生活している人々がいるということも耳にしたことがあります。地域との関わりのない独居老人の方が、もし体調が悪くなった時に、どこにも頼れる人がいないという様な人もいます。沖縄県各市町村で独居老人の方と連携が取れて初めて健康長寿の沖縄と言えるのではないのでしょうか。健康長寿の沖縄と1日でも早く言える日が来るために今、県が独居老人の方に行っている対策や今後どのような取り組みを行うかをお尋ねします。答弁のほど宜しくお願いします。

#### ○金城議長

子ども生活福祉部長 金城 武君。



**○子ども生活福祉部長 金城 武**

独居老人対策についてのご質問にお答え致します。

国立社会保障人口問題研究所によると、平成27年の沖縄県の高齢者単身世帯数は、51,226世帯で高齢者世帯に占める割合は31.3%となっており、今後、高齢者単身世帯が増加していくことが見込まれております。

その対策として市町村による支援を必要とする高齢者を対象にした福祉電話の設置、食事の配達サービスの実施の他、老人クラブによる高齢者宅を訪問して、話し相手になる訪問活動や民生委員による訪問相談などが実施をされております。また、市町村で高齢者の相談を受け付けている地域包括支援センターでは、高齢者本人や家族からの相談に応じ、必要なサービスに繋げる取り組みを行っております。

県としましては、これら市町村等の取り組みを支援してきたところであり、今後とも市町村等が実施する一人暮らし高齢者等への施策に対して必要な支援を行うことにより、健康長寿沖縄を目指して取り組んで参ります。以上です。

**○金城議長**

那覇地区③グループ、久米島町立久米島西中学校 國吉 向陽君、南大東村立南大東中学校 玉那覇 妃音さん、北大東村立北大東中学校 吉原 萌さん。



**○國吉議員**

那覇地区選出の久米島町立久米島西中学校 國吉向陽と申します。私から



は、地域の紹介をします。

私たちは、それぞれ本島から離れた離島に住んでいます。それぞれ人口は、北大東島が600人、南大東島が1,400人、久米島が8,000人と小さな島ではありますが、どの島も共通して海が綺麗ということが挙げられます。南北大東島には砂浜がなく、島の周りを崖で囲まれているため、海に入る際には飛び込むことが一般的なので度胸が必要です。

次に、久米島の特産物について紹介します。久米島の特産物といえば、日本一の生産量を誇る車エビです。車エビは瞬間冷凍しているため鮮度が落ちることなく、美味しいまま食べることが出来ます。

離島なので来る機会は少ないと思いますが、来た際には南北大東島の海や久米島の車エビを楽しんで行ってください。



#### ○玉那覇議員

那覇地区選出の南大東村立南大東中学校 玉那覇妃音と申します。私からは、地域の課題について説明します。

私たちが住んでいるところは離島のため、若者が満足して働ける場所が限られています。そのため、高校を卒業した生徒が島へ戻ってこなくなり、若者離れが深刻になっています。そこから人口の減少にも繋がっています。また飛行機も北大東は1日1便、南大東は1日2便、久米島は1日4、5便飛んでいます。その内の1便でも欠航になるとたくさんの負荷が掛ってしまうことが挙げられます。



#### ○吉原議員

那覇地区選出の北大東村立北大東中学校 吉原萌と申します。私からは、質問をします。

私たちが住んでいる島は、離島のため島内で生産できる食料が限られており、そのほとんどを沖縄本島からの支援に頼っています。そのため、台風が来ると飛行機や船の行き来が止まってしまい、長い時には2週間も物資が届かないという状況が続きます。また、私たちが週に5日食べている給食でも牛乳からお茶に代わってしまったり、家庭で食べる毎日の献立にも頭を悩ませています。

このことについて夏の頃には特に悩まされているのですが、解決策についてはどうお考えですか。答弁のほど宜しくお願いします。

### ○金城議長

知事公室長 町田 優君。



### ○知事公室長 町田 優

台風等で食糧等が不足した場合の対応についてお答えします。

台風等のような災害が発生した場合の対応は、県や市町村だけではなく、地域の自治会や地域住民一人ひとりにそれぞれ役割があり、協力して対応しなければならないと災害対策についての法律で決まっています。災害時に備えて何をするか、災害時にどんなことをするかは、地域の市町村や県の防災計画で予め定められています。

例えば、北大東村の地域防災計画では台風時に飛行機や船が欠航し、食糧等が不足した場合の対応について、台風接近に備え住民や島の外の事業者が十分な食料や生活必需品を事前に確保するように村役場が呼びかけることになっています。

また、大規模な災害に備えて各家庭や事業所における食料、水、洋服や寝具等の生活必需品については、1週間分以上の備蓄を勧めるとしております。

沖縄県においては、災害時に飛行機や船の欠航が続き、長期間食料が全く無くなってしまうような事態が発生した場合には、市町村を応援するために自衛隊にお願いして食料等の必要物資を運んでもらったり、炊き出しを行う

など、県と市町村が協力して災害対策を行っていくこととなっております。

地域の皆さまには引き続き食料や水の備蓄を進めていただくとともに、地域で行われる防災訓練に参加したり、災害時に避難する場所の確認や学校との連絡方法を確認しておく等、日頃から災害に備えていただくようご協力をお願いしたいと思います。また、災害時には、各家庭や学校周辺の高齢者や小さな子どもたちの避難を手伝うことや、ボランティアなど避難所でのサポートを行っていただくことを期待しています。以上でございます。

#### ○金城議長

島尻地区②グループ、与那原町立与那原中学校 小波津 紗希さん、南風原町立南風原中学校 比嘉 聡太君、八重瀬町立具志頭中学校 平仲 晃大君。



#### ○小波津議員

島尻地区選出の与那原町立与那原中学校 小波津紗希と申します。私からは、地域の紹介をします。

私が住む与那原町は、沖縄本島で最も小さな町です。ですが、マリンタウン東浜ができたことで、人口増加率は県内1位です。そんな与那原町には誇れるものがたくさんあります。

私が与那原町民として誇れるものは440年余りの伝統を持つ与那原大綱引きです。年に1度の行事ですが、祭りの当日には多くの人が集まり、活気を見せます。また、食べ物ではひじきや与那原そばなども有名です。そして、与那原町には多くの瓦工場が集まっています。それは瓦の原料となる良い土が採れることと、昔から交通が便利だったからです。そんな与那原町は活気溢れる住みやすい良い町です。以上で地域の紹介を終わります。



### ○比嘉議員

島尻地区選出の南風原町立南風原中学校 比嘉聡太と申します。私からは、地域の課題を説明します。

南風原地区の小中学校では、ハブが敷地内から何度か発見されています。生徒、児童が草むらに入ると咬まれるとても危険です。敷地内や近くの河原付近に捕獲器を設置する必要があると思います。

また、町内の小学校は何度が防水工事を行っているが、雨漏りが止まらないそうです。南風原中学校も体育館の工事を行っているので点検したほうがいいと思います。

八重瀬町は少子高齢化が進んでいます。具志頭中学校では、数年前と比べると、生徒数が100名以上も減っているそうです。これでは、生徒会活動や部活動にも影響があります。少子高齢化をどう止めていくかも考えていく必要があると思います。これで地域の課題は以上です。



### ○平仲議員

島尻地区選出の八重瀬町立具志頭中学校 平仲晃大と申します。

現在は基地問題で沖縄県は国と揉めていますが、その基地がアメリカから返還される見込みがあるのでしょうか。また、もし返還されたら県内でも基地関係で働いている県民がたくさんおりますが、その人たちに県や国はどのような対応をするのか。明確な答弁のほど、宜しくお願いします。

### ○金城議長

知事公室長 町田 優君。



**○知事公室長 町田 優**

米軍基地返還の見込み及び雇用対策についてのご質問にお答え致します。

米軍基地の返還については、平成 25 年 4 月に発表された嘉手納飛行場より南の統合計画に基づき牧港補給地区、普天間飛行場、キャンプ瑞慶覧等 6 施設、合計約 1,048 ヘクタールの返還が合意され、この内既に 52 ヘクタールが返還されています。また平成 8 年の日米両政府の合意によって、北部訓練場の過半にあたる約 3,987 ヘクタールの返還も合意されています。

米軍基地従業員の雇用対策については、直接の雇用主である国が責任を持って取り組むことになっています。その具体的な雇用対策としては、米軍基地の返還等により、これまで勤務していた職場で働けなくなると不利益を受ける労働者については、他の施設への配置換え等による雇用の継続を基本としています。この他施設別の空き状況と影響を受ける労働者の把握、米軍基地労働者の意向調査、技能教育訓練等を実施することとなっています。また、やむなく基地従業員として働けなくなってしまった方々の再就職対策として駐留軍関係離職者等臨時措置法という法律で最長で 3 年間にわたる就職指導、特別給付金や就職促進手当の支給等の措置が規定されています。

沖縄県では、基地返還が従業員に及ぼす影響について沖縄防衛局や各市町村と連携し情報収集に努めるとともに、従業員の雇用対策に万全を期して参ります。以上でございます。

**○金城議長**

八重山地区グループ、石垣市立石垣中学校 渡慶次 佳奈子さん、石垣市立名藏中学校 大田 生吹君、石垣市立大浜中学校 齋藤 健太君。



### ○渡慶次議員

八重山地区選出石垣市立石垣中学校 渡慶次佳奈子と申します。私からは、地域の紹介をします。

「大切なものがきっとそこにあるはずさ、それが島人の宝 イーヤーサーサー」

今、歌った曲は石垣島出身アーティストの BEGIN の島人の宝の一部です。歌にもあるように石垣島はとても素敵なところですよ。そんな石垣島の紹介をさせていただきます。

石垣市は、沖縄本島よりも台湾の方が近い場所にあり、沖縄県で1番高い山、於茂登岳を有する人口約 49,000 人の町です。観光客が多く訪れる人気スポットには、国指定名勝地の川平湾や世界屈指のサンゴ礁が広がる白保、琉球の歴史を感じさせるアカハチ像等があります。

最近では海外、特に台湾からの観光客も増え町で見かけることも多くなりました。石垣市の1番の魅力は、伝統文化を大切に、それを次の世代に受け継いでいくところです。特に豊年祭や結願祭などは、今もなお地域の大きな結びつきの役割を果たしています。そのため中学、高校でも郷土芸能が盛んになっていて、若者に伝統が引き継がれている素晴らしいところです。以上を石垣市の紹介とさせていただきます。



### ○大田議員

八重山地区選出の石垣市立名蔵中学校 大田生吹と申します。私からは、地域の課題を説明します。

石垣市の課題は大きく3つ挙げられます。1つ目は、石垣市は賃金が安く共働きをしないとイケない家庭もあり、時間や心に余裕が持てずに地域の伝

統行事に参加できない人もいます。

2つ目は、クルーズ船で来ている台湾人観光客のマナーについてです。スーパーのトイレットペーパーを持って帰ったり、カートの上に座ったり、購入していない品を食べたりなどが問題になっています。

3つ目は自然環境の破壊です。近年観光客の増加によって道や公共施設にポイ捨てが増えていきます。また、海や山への不法投棄も問題となっています。以上です。



**○齋藤議員**

八重山地区選出の石垣市立大浜中学校 齋藤健太と申します。私からは、質問をします。

沖縄県は、給料や賃金が最も低いのが問題です。それを改善するためには、観光客を増やすことによって、沖縄で盛んな第三次産業を活かし賃金を上げていくことが重要だと思います。

しかし、八重山の海では多くのゴミが捨てられているのが目につきます。ここで伺います、県としては海の保全と改善についてどう考えていますか。また、今の環境の保全等の対策は行われているのですか、そして行われているのならば、どのような対策をしているのか具体的に教えてください。答弁のほど宜しくお願い致します。

**○金城議長**

環境部長 當間秀史君。



**○環境部長 當間秀史**

観光資源である海の保全対策についてのご質問にお答えします。

沖縄県は亜熱帯海洋性気候に属し、島ごとに多様な自然環境を有する世界的にも類まれな生物多様性の豊かな地域です。とりわけ発達したサンゴ礁は、多種多様な生物に生息の場所を提供し、水産業はもとより、レクリエーションや観光資源として重要な役割を担っています。一方、陸域からの赤土や生活排水等の流入、埋め立てなどの人為要因による自然の砂浜の減少など、サンゴ礁生態系への影響が懸念されています。また大量のゴミが海岸に漂着し、生態系ばかりでなく生活環境にも大きな影響を及ぼしています。

このようなことから沖縄県では、沖縄県環境基本計画を策定し国や市町村、事業者、環境団体などと連携して様々な取り組みを実施しています。

具体的には、慶良間諸島国立自然公園の新たな指定や西表石垣国立公園の拡張を進めるなど重要な地域の保全をしています。また、サンゴ礁生態系の保全、再生を図るため赤土等流失防止条例に基づき、開発に伴う赤土などの流出を規制するとともに、オニヒトデの効果的な駆除の研究、サンゴの植え付けなどを実施しています。

海岸に漂着するゴミについては、回収するよう実施するとともに、海外由来のゴミの発生源対策として台湾との交流事業を実施しています。昨年度は石垣市において、台湾の皆さんと海岸清掃活動を通じた交流事業を行い、お互いに海岸ゴミの発生抑制などに取り組んでいくことに認識致しました。

沖縄県としては、沖縄の美しい海を保全するため地域の皆さんと連携して取り組んでいきたいと考えています。以上でございます。

## ○金城議長

中頭地区④グループ、西原町立西原東中学校 吉谷 琉一君、沖縄カトリック中学校 外間 光さん、琉球大学教育学部附属中学校 渡慶次 結君。



## ○吉谷議員

中頭地区選出の西原町立西原東中学校 吉谷琉一と申します。私からは地域の紹介を致します。

西原町は海に面していて、きらきらビーチといった観光資源や南西石油を



中心とした広い工業地域があります。また、現在ではサンエー西原シティが建っていますが、かつては大きな製糖工場があり、今でもさとうきびが多く生産されています。

さらに、バレーの町、西原とも呼ばれ昨年も小中高とどの年代も全国で活躍しています。スポーツだけでなく、国立の琉球大学があり日々新しい発見や進歩のため研究しています。さらに琉球大学附属中学校があり、大学と連携して他とは違った学習を行い、内容の深い学習を広めています。

このように西原町は観光、産業、学習、スポーツ、人材育成に適し日々向上している町です。以上で地域の紹介と致します。



#### ○外間議員

中頭地区選出の沖縄カトリック中学校 外間光と申します。私からは、地域の課題を説明します。

宜野湾市は市の面積の約 30%以上を米軍関連施設が占めており、今、全国的にも問題となっている普天間基地の移設問題や普天間基地の近隣住民などへの騒音被害が市の大きな問題となっています。

私の学校にもオスプレイなどの戦闘機の飛行中の騒音が聞こえてくることもあります。

さらに、宜野湾市は市の経済の一部が基地によって支えられています。県をあげて基地の県外、国外移設が叫ばれている中、もし移設をしたらその基地によって支えられていた部分をどのように補うのかというのも課題の一つとなっています。しかし、普天間基地をどうするのか、はっきり決まっていないため課題は残ったままとなっています。



## ○渡慶次議員

中頭地区選出の琉球大学教育学部附属中学校 渡慶次結と申します。私からは、質問をさせていただきます。

宜野湾市の普天間飛行場など、沖縄県の基地問題は県だけでなく、国をあげて考えていかなければいけない問題だと思っておりますが、基地の移設、負担軽減に伴い、他の都道府県や他国との協力は欠かせないもとだと思っております。正直、私たち県民でも本当の基地問題、経済面、良い面、悪い面を知っている人はそう多くないのが現状です。

県や地域によっても報道の違いがある中、全国での認知度を統一し、問題意識を高めていくため県として具体的にどのような姿勢、取り組みを行っていくのでしょうか、答弁のほど、宜しくお願いします。

## ○金城議長

知事公室長 町田 優君



## ○知事公室長 町田 優

県内外の基地問題への認識を高めるための取り組みについてのご質問についてお答え致します。

沖縄の基地問題への認識を高める活動については、翁長知事自身が東京の日本記者クラブで記者会見を行ったり、テレビ局の取材に答える等、報道機関を通じ、日頃から沖縄の基地負担の現状を訴えているほか、全国の都道府県知事が集まる全国知事会で沖縄の過重な基地負担の解消に向けた協力を求めています。また、知事が米国ワシントンD. Cを訪問し米国政府関係者等に沖縄の基地負担軽減への理解を求めたほか、スイスで行われた国連人権理事会でも基地問題についてスピーチを行っており、これらの活動が広く世界中に報道されております。このほか、県外から来られる議員や学生に対し、沖縄県の職員が沖縄の基地問題についての説明を行ったり、県内の大学等で基地問題についての出前講座を実施するなどの活動も行っております。

また、基地問題解決に向けた沖縄県の取り組みは、現在の米軍基地に関する資料等を掲載するなど、ホームページを充実させるとともに英語版パンフ

レットを各国の大使館に送付するなど情報発信をおこなっております。

本日、このように基地問題に関する質問に答えることも、県内の学生や一般の方々の基地問題に関する理解を深めることに繋がるものと考えております。

沖縄県は、今後ともこのような活動を通じ、県内外の皆さまの基地問題への理解や関心が高まるよう取り組んで参ります。以上でございます。

### ○金城議長

那覇地区④グループ、興南中学校 大見謝 歩夢君、沖縄アミークスインターナショナル中学校 前田 祐佳さん、那覇市立金城中学校 奥濱 萌乃香さん。



### ○大見謝議員

那覇地区選出の興南中学校 大見謝 歩夢と申します。私からは、地域の説明をします。

那覇地区は、多くの建造物が立ち並び地方から仕事のために、たくさんの人々がきて毎日が活気に溢れています。そんな県内でも、都市化が著しく進行している那覇地区は、ファストフード店をはじめ、病院や公園、学校などの施設が多くあるため住みやすい場所となっています。

一方で、金武地区は金武町指定文化財に指定されている大川やマングローブ林が連なっている億首川など自然が多く残っているところです。また、エイサーや沖縄民謡など沖縄県の文化を体験し楽しむこともできます。



### ○前田議員

那覇地区選出の沖縄アミークスインターナショナル中学校 前田祐佳と申します。私から地域の課題を説明します。

那覇地区と金武町では、主に2つの問題があります。

まず1つ目は交通渋滞です。那覇地区も金武町も通勤時間が一番混雑しますが、その原因は、那覇地区においては悪天候、金武町については基地、特に軍用車が渋滞に拍車をかけています。軍用車は普通の車に比べ、大型なものが多いので深刻な交通事故を起こさないか心配です。

2つ目の課題は学力問題です。那覇地区は、年代間で学力の差があるものの沖縄の中では高い方です。しかし、日本全体で見るとまだまだ低く、特に金武町などの小さな市町村に行くと、さらに学力の低さが目立ちます。

交通事故を改善すること、学力を上げることそれが那覇地区と金武町の課題です。



#### ○奥濱議員

那覇地区選出の那覇市立金城中学校 奥濱萌乃香と申します。私からは質問をします。

将来像5の説明で「学力や進学率などの教育水準が高く」とありますが、現在の沖縄県は、中学生の学力が最下位の県です。私の周りの大人には「沖縄は部活をやり過ぎている」「部活のやり過ぎで勉強が疎かになっているんだ」と言っている人もいるのですが、県は沖縄の中学生の学力が最下位の理由はどこにあると考えていますか。また、これから沖縄の中学生が学力最下位から抜け出し、学力や進学率などの教育水準を高めていくために県として取り組んでいること、これから取り組んでいくことがありますか。答弁のほど、宜しくお願いします。

#### ○金城議長

教育長 諸見里 明君。



### ○教育長 諸見里 明

それでは中学校の学力に係る課題と今後の取り組みについてお答えします。

本県の中学生の学力が全国水準に到達できていない主な理由としましては、生徒が学ぶ意義を実感する授業を教師がもっと工夫しなければならないこと、生徒も自分の将来を見つめて授業をしっかり受けなければならないこと、全国に比べて家庭学習の時間が短いことからもっと家庭学習を充実させなければならないこと、部活動についても現在は時間が守られてきていますが、以前までは時間が長く、休みの日などが少ない状態であったことなどが挙げられます。

本県の中学校は全国学力調査において、各教科の平均正答率は全国最下位ですが、その差は着実に縮まっております。今年度の調査においては、無回答率が改善されるなど、全ての教科で改善が見られました。また学習状況調査においても教科の勉強が好き、大切、役立つなどに関する質問では、全国平均よりも高い数値を示しており、多くの生徒が学習について意欲的に捉えております。

県教育委員会としましては、生徒の学習意欲を大切にしながら、次のことに取り組めます。生徒が主体的に参加する授業づくりの工夫、生徒の夢や目標を育み、それを実現させるための進路指導の充実、発達段階を考慮した部活動の充実、望ましい生活習慣や学習習慣の確立、これらの取り組みを充実させることで、沖縄の未来を担う中学生に確かな学力などの生きる力を育てていきたいと考えています。以上です。

### ○金城議長

以上で本日の質疑は終了しました。

本日、中学生議員として、この沖縄県議会本会議場で知事から挨拶をいただき、県の部局長にご答弁いただくという貴重な体験をしました。

今回の経験を活かし、これからも「私達の描く沖縄の未来に向けて」何ができるのか、引き続き自ら考え、「未来の沖縄の発展を担うのは、私たち一人ひとりなんだ」という自覚を持ちながら、積極的に様々な活動に参加したいと思います。

これをもちまして「沖縄県中学生議会」を閉会致します。議員の皆さま、長い間、お疲れ様でした。また、説明員の皆さまには、会議出席、誠にありがとうございました。どうぞご退出願います。

#### ○事務局

本日は、「沖縄県中学生議会」に参加いただき、ありがとうございました。16時から県庁行政棟地下1階南天にて議員同士の交流会を行います。議員は、職員の誘導に従い、移動をお願いします。

## 参加者集合写真



### 沖縄県中学生議会

---

開催日	平成 28 年 2 月 5 日
事務局	沖縄県 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号 企画部企画調整課 TEL : 098-866-2026 FAX : 098-866-2351 E-mail : aa010006@pref.okinawa.lg.jp

---